

## 『国際経営フォーラム』執筆要領

「研究論文」については、下記要領に従って作成の上、原稿提出願います。「研究ノート」「その他」については、対応する項目のみ下記要領を参考にしてください。

### 1. 作成ソフトウェアと提出

原稿は、Microsoft Word等の文書作成ソフトにて作成してください。なお、提出は、(1)ワードファイル等、(2)PDFファイル、の2つのデータを、国際経営研究所事務局までメールで送信して下さい。

### 2. 全体構成

論文タイトル

氏名

本文

注

参考文献

上記の順で構成します。注は、脚注とすることも可とします。

### 3. 段組み

横書きで1段組を基本とします。

### 4. フォントサイズ

フォントサイズは、タイトル15pt、著者名12pt、本文10.5pt、参考文献9pt（段落間隔を詰める）を目安とします。

### 5. 本文と注および参考文献

邦文の場合は全角文字、英文の場合は半角文字としてください。

## 6. 見出し

本文を章や節に分ける場合は、見出しは、以下の表記方法に従ってください。

1

1.1

1.1.1

ただし、1.1.1よりも深い見出しは基本的に使用しないこととします。

## 7. 図表

図表は見やすく整理し、必要最小限に絞ってください。原則として本文中に記載しますが、それが数ページに及ぶ場合には、末尾にまとめて記載してください。

タイトルには、「図1」「表1」のように通し番号をつけます。他者の図表を使用する場合は著作権者の了解を得て、出典を明示してください。

## 8. 参考文献

参考文献は、基本的に、引用した文献のみを掲載します。また、日本語文献（姓のあいうえお順）、外国語文献（Family NameのABC順）の順に掲載します。なお、参考文献の記載方法については、統一されていれば、自由形式とします。例示は、以下の通りです。

例：日本語文献の場合

経営太郎（2014）,「投資意思決定に関する一考察」,『経営ジャーナル』, 11, 15-25.

経営花子（2018）,『経営財務入門』, 経営財務出版社

経営太郎「意思決定に関する一考察」『経営ジャーナル』11号, 15-25  
ページ, 2014年.

経営花子『経営財務入門』 経営財務出版社, 2018年。

例：外国語文献の場合

単行書：著者・編者名(刊行年), 著作名, 発行所(訳書)

論文：著者名(発行年), “論文名,” 雑誌・収録書名, 巻, 号, 頁(訳書)

Gerber, H. U., W. Neuhaus and S. H. Cox (1997), *Life insurance mathematics*, Springer-Verlag, 3rd Edition.

Merton, R.C. (1974), “On the Pricing of Corporate Debt: The Risk Structure of Interest Rates,” *Journal of Finance*, 29 (2), pp. 449-470.

## 9. 編集方針

提出された原稿の論文の形式や体裁について、上記の執筆要領に適合していない場合、全体との整合性をとるために、編集委員会で、提出後あるいは校正時に修正の依頼をお願い、あるいは編集委員会での修正をすることがあります。

## 10. その他

本国際経営フォーラムに掲載の投稿原稿および査読論文等の著作権は、執筆者に帰属するものとします。また、著作に関する全責任は各執筆者が負うものとします。校正は筆者校正ですので、慎重かつ綿密な校正に努めてください。

以上

2015.4.1 発行

2019.4.1 改訂

2020.7.31改訂